

大菩薩 牛ノ寝通り山行

山行日 2018年10月27日(土)～28日(日)

コース 27日 7:30 新宿 「あずさ3号」=塩山 8:53/9:30 バス=大菩薩登山 9:57/10:08－
－上日川峠 12:16/12:31－福ちゃん山荘 12:56
28日 7:00 福ちゃん山荘－大菩薩峠 7:30/7:50－石丸峠 8:30/8:35－榎ノ尾山 9:46－
－棚倉大ダワ 11:18/11:23－小菅の湯 13:10 (入浴) /14:41=帰松戸 18:00 頃

10月27日(土)

新宿駅でリーダー、SLと合流して、あずさ3号に乗車。指定席を取っていたので座って行くことができた。立川を過ぎるとほぼ満席になっていたの、今回は残念ながら不参加だったが最初に計画を立てて手配してくれた元リーダーに感謝だ。窓の外を見ると青空が見えはじめており、ホッとす。

塩山駅からバスに乗り換え。街中を抜けると声をかければ降りたい場所で止めてくれるらしい。8月には車で上日川峠まで登った道を、今回は登山道を辿っておよそ10キロを背負って登る。ふかふかの落ち



葉を踏みながら樹林の中を登って行く。途中の茶屋で小休止、また樹林の中を行く。登るにつれて紅葉が少しずつ色濃くなっていた。長兵衛小屋で昼食を取り、もう少しだよ、との言葉に励まされて元気を出した。

上日川駐車場を経て、12時56分、福ちゃん荘に到着。登山道ではほとんど人に会わなかったけれど、別のルートから来た学生さんの一行などで賑わっていた。受け付けをして、まずはテント設営。テント場の中央には学生さん達の大きなテ

ントが3つ、その周りにすでにいくつかのテントが設営してあった。

テントを張りながらリーダーからロープの結び方を伝授してもらおう。なかなかきれいにできないな…。形がきれいでないということは、何処かに無駄があるということなのだろう。あちこちを引っ張って悪戦苦闘した。設営後はビールで乾杯して山談義、SLお気に入りの秩父の山の話などを聞く。経験が少ない私にはへえ～、という話ばかり。冷えて来たのでテントに戻るとほぼ爆睡。ごめんなさい、やっぱりとても疲れたのです。

10月28日(日)

朝の3時過ぎから出発用意をする人達がいる、笑い声が聞こえて目が覚めた。朝食を済ませて撤収を始める。リーダーもSLも、行動に無駄がなくシンプルで素早い。SLから、今日は先頭を歩いてごらんと指示があり、まずは介山荘を目指した。歩き始めはやはりきつい。身体が楽になった頃、介山荘に到着。

介山荘にはすでに何人かいて、思い思いに景色を楽しんでいた。雪をかぶった富士山がきれいに見えた。写真を撮って先に進む。富士山を横に見ながら、大きめの石がゴロゴロある下りをゆっくりと慎重に下る。石丸峠は笹野原が朝露に光っていて清々しい。地図を広げてルートを確認しながら進んだ。分岐を間違えなければ大丈夫とSL。リーダーは、間違ったら後ろから見て教えるから〜と。ありがたい。

石丸峠を過ぎるとまた樹林帯に入り、ゆったり寝ている牛の背中ような道だという牛ノ寝通りへ。木漏れ日の中をひたすらてくてくと下って行く。静かで気持ちのいい道だ。小休止のたびにリーダーが、大丈夫ですか〜？と声をかけてくれた。うん、まだ大丈夫、自分に問いかけながら歩いた。牛ノ寝通りでは倒木が登山道を塞いでいる所が何カ所かあった。台風や強風の影響だろうか。まるでアスレチックのように足をかける場所を教えてもらいながら、慎重に倒木を越えた。「この山行の一番の難所だ」とリーダー。

杉林が目立つようになって、やっと下りてきた、と実感。下山後は温泉で汗を流して乾杯…、だったが、つい長湯して乾杯に参加できなかった、ごめんなさい。機敏な行動を取ることが私の課題だ。

当初の計画より人数が減ってしまったのは残念だったがけれど、静かな紅葉の中、いろいろな山の話聞くことができた楽しい山行だった。知らない山の名前も、下山後地図を広げて教えてもらった。こうして行きたい山が少しずつ増えていくのかな。やりたいことが見えてきた、そんな思いを強くした。ゆっくりペースに合わせて下さったベテランのお二人に感謝、本当にありがとうございました。

